



最先端の「知」を、最前線に。

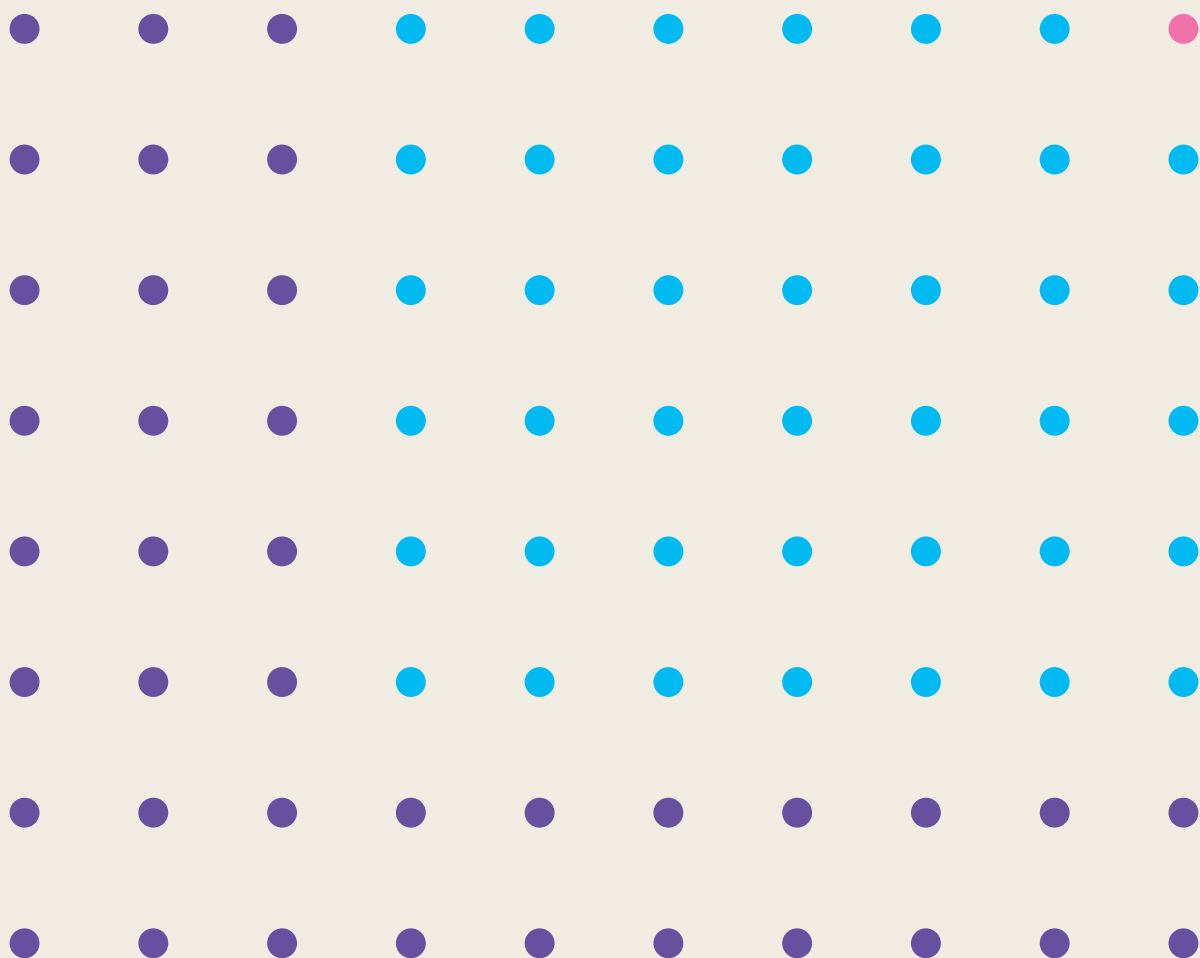
働く人への心理支援

開発研究センター

[T-One ラボ]



筑波大学
University of Tsukuba



R&D Center for Working Persons' Psychological Support

人は、 生涯、 発達する。

Pursuit lifelong
development
with us.

グローバル化、少子高齢化、AI活用…働く現場が大きな環境変化に直面するいま、
「心の理解」、「働く人への支援」、「指導・支援する人材の高度化」へのニーズが、かつてないスピードで高まっています。
個人や組織が、その力を十分に発揮するために、いま、何が必要なのか。
その答えをみなさまとともに考え、働く人を取り巻くあらゆる環境の改善をめざした、
ワンストップでのサービス提供拠点を設立しました。



Message

岡田昌毅 教授

働く人への心理支援
開発研究センター長

本学人間総合科学研究科・生涯発達専攻カウンセリングコースでは、過去30年にわたりカウンセリングや心理学領域を専門基盤として、社会人研究者の育成や実践的研究成果の発信・発表を行ってきました。そうした実績に基づいた最先端かつ幅広い知見を活かし、働く人の支援に関する研究成果を社会に還元することをめざした産官学連携の研究拠点として、本センターは設立されました。働く人および働く人を支える家族や組織、さらに働くことに関し、「人は、いつでも、いつまでも発達できる (Pursuit lifelong development with us)」という理念のもと、活動を推進しています。



リサーチユニット

企業・組織との共同研究を通じた、
さまざまな現場への展開や社会への貢献

企画・広報戦略ユニット

広く社会・企業ニーズに即した
新規プロジェクトの提案および
情報発信・成果報告

コンサルティングユニット

心理統計に基づく
コンサルティング調査・
分析・ツール開発への学術指導

教育・研修ユニット

人事育成担当者・支援者・指導者への
研修プログラムの実施・
新規開発・効果検証

カウンセリングユニット

心理相談・キャリア相談
スーパービジョン、
スーパーバイザー養成

T-Oneラボ 5つのユニット

真の社会ニーズをとらえ、
最先端の知を活かした
最前線への支援を可能に。

専門領域のご紹介

生涯にわたる発達段階での多様な問題に対応し、
さまざまな現場の課題に取り組む、
幅広い専門性を有した研究者が集いました。

臨床心理学

全教員

うつや不適応など、さまざまな現場でストレスやメンタルヘルスに関する問題が山積しています。そうした「こころ」にまつわる諸問題を解決するとともに、これらを予防するための個人や組織に対する多様なアプローチと技法を研究し、それを社会に還元していくための分野です。

生涯発達心理学

大川 一郎 / 安藤 智子

人は、生涯にわたって、発達します。そして、その中で様々な課題に出会い、向き合っていきます。それらの課題について分析し、理解を深めることで、その人らしい発達を支えること、さらに、社会的課題の解決をも目指す分野です。

産業・組織心理学

岡田 昌毅 / 大塚 泰正 / 原 恵子

人はなぜ働き、何を求めるのでしょうか。心理学の様々な理論・知見を、職場や組織へと応用し、自分らしいキャリアを発達させ、組織に貢献するために必要な要素やプロセスを解明し、人と仕事の関係をより良くするための分野です。

非行・犯罪心理学

原田 隆之

人間の不適応行動の代表的なものとして、非行・犯罪が挙げられます。さらに、ハラスメントや依存症など様々な問題行動を生物・心理・社会的観点から多角的に捉え、治療のために効果ある臨床実践のあり方を検証していく分野です。

教育・学校心理学

藤生 英行 / 飯田 順子

さまざまな環境変化の中で、これからの時代を支える子ども・若者たちに、私たちは何ができるのでしょうか。学校教育を通して成長し発達する中で、子どもや若者が直面する多様な課題に適切に対応し、援助することのできる、「人を育てる人」を育てる分野です。

心理統計・データ解析

藤 桂 / 松井 豊

働く人や組織にまつわる「なぜ」「どうして」を解き明かすためには、客観的なデータの収集と科学的な解析が欠かせません。多様な分析手法を駆使して、人間の複雑な心理と行動の背景に潜む真実を見抜き、新しい視点からの問題解決を実現するための分野です。





● 株式会社日立製作所

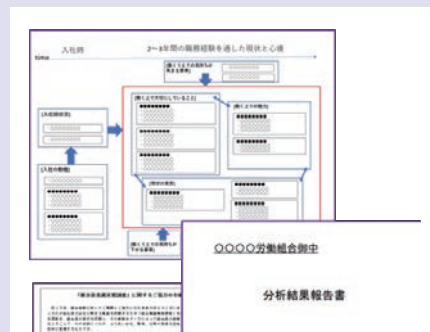
株式会社日立製作所様では、社員の活躍の促進および人事施策の高度化を支援するための様々な取り組みを展開されています。このたび、これまで明確に捉えることができなかった、働く個人の生産性および部署・チームに配属された個人のフィット感の「見える化」を、心理学の知見とデータ解析手法を組み合わせることで実現したいというご依頼を受け、本センターが学術指導にて支援を

させていただきました。この課題の解決に向け、心理統計に関する体験型講義の実施、調査の設計、多様な分析手法の適用、得られた結果の解釈などのそれぞれのプロセスを、心理学の知見や方法論に基づきサポートいたしました。これらを経て開発された測定ツールは社会的にも高く評価され、「第3回HRテクノロジー大賞(経済産業省など後援)」において「大賞」を受賞されました。

● j.union株式会社

j.union様では組織コンサルティングサービスとして、職場の実態や組合員の意識調査、さまざまな統計学的手法での分析、具体的な組合活動に結びつく報告・アドバイスを提供されており、本センターも多数の案件で協働させていただいております。本センターは、沢山の案件で協働させていただいております。直近では、若手社員の離転職の多さが課題である小売り企業労働組合様での

課題解決に、共に取り組みました。“当事者である若手社員はどのような思いなのか、どのようなことが現場で起きているのか?”、現地でのグループインタビューを実施するところから調査をスタートさせました。最終的には、質的調査と量的調査の両方の結果を根拠とした、労働組合様として有効であろう取り組みの可能性について、共同提言させていただくことになりました。



● 株式会社マイナビ

株式会社マイナビ様ではマイナビ研修サービスとして、採用・若手育成に特化した研修はもちろん、さまざまなニーズに応じた人材育成研修プログラムを提供されています。このたび、エンゲージメントを切り口にした組織開発診断ツール開発に向けての学術的なアドバイスのご依頼を受け、本センターが支援をさせていただきました。株式会社マイナビ様が

作成したいエンゲージメント尺度は、学術研究でよく用いられているワーク・エンゲイジメント尺度とは異なり、エンゲージメントに影響を与える要因を数多く測定し、それを組織改善につなげていくという発想に基づいています。支援の結果、「マイナビエンゲージメント・リサーチ」が完成し、これから多くの企業で活用されていくことが期待されます。

連携企業先の受賞歴

第3回 HRテクノロジー大賞(経済産業省後援)「大賞」

● 株式会社日立製作所

「個を活かすPeople Analytics」個人の内面×人事・行動データ×最先端のAI・データ分析で個人個人を輝かす!



第4回 HRテクノロジー大賞(経済産業省後援)「人事システム部門優秀賞」

● ソフトバンク株式会社

ワークライフインテグレーションを実現する独自のパルスサーベイ「充実度サーベイ～Circularity Pulse～」の開発及び社内活用



お問い合わせ先

働く人への心理支援開発研究センター事務局

MAIL: t-onelab_info@un.tsukuba.ac.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車
「出口1」徒歩3分程度



最先端の「知」を、最前線に。

働く人への心理支援開発研究センター

[T-One ラボ]

